

中 学 校

平成 2 4 年度

教育研究員研究報告書

国 語

東京都教育委員会

目 次

I	研究主題設定の理由	1
II	研究の視点	2
III	研究の仮説	3
IV	研究の方法	
	1 研究構想図	4
	2 仮説の検証	4
V	研究の内容	
	指導の実際	
	<指導例1：第1学年>	6
	<指導例2：第2学年>	13
	<指導例3：第3学年>	19
VI	研究のまとめ	24

研究主題

交流活動によって、目的や意図に応じて工夫して書く力を高める指導

I 研究主題設定の理由

平成24年度より中学校において新学習指導要領が全面実施となった。各教科等において言語活動を充実させ、生徒に思考力・判断力・表現力等の能力を育成し、「生きる力」を育むために、その基盤となる言語能力を着実に培うことが、国語科に求められている。

「平成24年度全国学力・学習状況調査」（国立教育政策研究所）の調査結果から、課題があると思われる指導事項に着目すると、「相手の発言を注意して聞き、自分の考えを書くこと」（通過率20.6%）、「相手の発言の内容を取り上げて自分の考えを具体的に書くこと」（通過率20.6%）の2問の通過率が、他に比べて低い数値となっている。平成24年度「東京都立高等学校入学者選抜 学力検査結果に関する調査」においても、「まとめと指導改善の視点」として、「読み取った内容を基に、自分の考えを場面に応じて適切に表現する力を育成する指導が大切である」との指摘がなされている。

また、「平成23年度児童・生徒の学力向上を図るための調査」（東京都教育委員会）においては、「書く能力」に関する設問の正答率が他の能力に関する設問に比べ低くなっているという結果が示され、調査結果の分析から、「書いた文章を読み直し、語句の用法・叙述などを確かめて読みやすく分かりやすい文章にすること」に課題があることを明らかにしている。

「平成24年度児童・生徒の学力向上を図るための調査」においても、各教科において記述式の問題に課題があることが指摘されている。

社会生活において、相手や目的に応じて書くことができる力は必須の能力であるが、その育成が課題となっていることが分かる。「書くこと」の指導の場面において、「何を書けばいいのか分からない」「どのように書けば分からない」とはじめから訴える生徒や、書いたものが分かりやすいものになっているか、目的や意図に応じた書き方になっているかを吟味できない生徒が少なくないのが実態である。

学習指導要領では、「書くこと」の指導の目標を、目的や意図に応じ、構成や論理の展開に工夫し、分かりやすく的確に書く能力を身に付けさせることとし、そのための指導事項として、「課題設定や取材」「構成」「記述」「推敲」「交流」の五つを示している。先述のような生徒の実態を踏まえ、学習指導要領に示される5つの指導事項を効果的に指導し、自分の伝えたいことを的確に伝えるための工夫をしながら書くことのできる力を身に付けさせることが、大きな課題である。

これらの課題を踏まえ、目的や意図に応じて工夫して書く力を育成する指導の手立てを示すことを目標として、研究主題を設定した。

Ⅱ 研究の視点

学習指導要領の教科の目標には、「国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める」とある。「伝え合う力を高める」とは、人間と人間との関係の中で、互いの立場や考えを尊重し、言語を通して適切に表現したり正確に理解したりする力を高めることである。この「伝え合う力」を、社会生活に生きて働くよう、相手や目的、意図、多様な場面や状況等に応じて適切に表現したり正確に理解したりする力として育成し、生徒一人一人が言語の主體的な使い手として社会生活で活用していくことができるようにすることが大切である。

今回の学習指導要領の改訂では、「書くこと」の指導事項の中に「交流」が位置付けられた。これは、書いた文章を互いに読み合うことによって、自分の表現の参考にしたり、考えを広げたりすることをねらいとしている。

本研究は、〈交流活動〉を取り入れることによって、目的や意図に応じて工夫して書く力を高めることをねらいとしている。本研究における〈交流活動〉とは、この指導事項の「交流」とは別に、「課題設定や取材」、「構成」、「記述」、「推敲」の指導事項において、他者とのやりとりから学ぶという学び合いの利点を生かし、前述の生徒の課題を解決するための手立てとして取り入れるものである。

例えば「課題設定や取材」に関する指導において、〈交流活動〉を行うことによって、個人では思いつかなかった材料や取材方法等が得られる。「何を書けばよいのか分からない」という生徒には、書く活動を進めていくためのきっかけとなると考えた。また、自分の書いた文章が目的や意図に応じたものとなっているかどうかを個人で吟味しながら書くという活動は、生徒にとっては難しい取組であるが、「構成」や「記述」に関する指導の中に〈交流活動〉を取り入れて他者から助言や評価を得させることで、工夫・改善の具体的な手立てを考えることができるようになる。

書く活動に取り組む際に、「誰のために書いているのか」、「何のために書いているのか」と問い続け、「そのためにはこの言葉、この構成、この表現でよいか」と様々な視点から吟味し続けることができれば、目的や意図に応じて工夫しながら書くことが可能となる。〈交流活動〉を行うことにより「書くこと」のそれぞれの指導事項について他者の視点・思考に気付く、「多面的・多角的な視点」を身に付けることで、自分の表現の仕方について吟味し続けることができるようになる。また、指導事項に意図的に〈交流活動〉を取り入れることで、生徒はその単元で身に付けるべき能力をより明確に理解して学習に取り組むことができると共に、単元のまとめとしての「交流」において的確な視点や評価の観点をもって活動に取り組むことができるようになる。

本研究では、こうした視点から、「書くこと」の指導の中に意図的・効果的に〈交流活動〉を取り入れることで目的や意図に応じて工夫して書く力を高める指導方法について、考察・検証を行っていく。

Ⅲ 研究の仮説

「平成23年度児童・生徒の学力向上を図るための調査報告書」(東京都教育委員会)では、授業改善のポイントとして「推敲指導を書くことの学習に位置付けて、習慣化させる指導を工夫すること」が挙げられている。自分の書いた文章が自分の伝えたいことを適切に表現できているか、相手に正確に伝わるものとなっているかを様々な視点から検討し、工夫できる力を身に付けさせる必要があるということである。そのためには、書き終えたものを推敲できるようにするだけでなく、素材選びや文章全体の構成を考える場面、下書きを書く場面等、書く活動に伴う全ての場面において、常に、「この構成でよいか」「もっと効果的な表現はないか」と吟味することの習慣化が必要である。

その習慣化を効果的に進めるための手立てとして、本研究では、「書くこと」の指導事項である「課題設定や取材」、「構成」、「記述」、「推敲」に〈交流活動〉を取り入れた指導事例を示す。他の生徒との〈交流活動〉に取り組み、自分とは異なる発想や表現に触れていく中で、自分の中に対象を様々な角度から見つめ捉えていこうとする視点、すなわち「多面的・多角的な視点」をもつことができると考える。

「多角的・多面的な視点」をもつことによって、「何を、どのように書けばよいか」を様々な角度から検討したり、「この構成、この表現が最適か」と様々な面から見直したりすることができるようになる。つまり、「書く」という活動の最中に、常に自己の表現の仕方を吟味することが可能になるということである。

生徒自身の中に「多面的・多角的な視点」をもたせ、目的や意図に応じて工夫して書く力を育むための手立てとして、〈交流活動〉を取り入れながら書く活動に取り組ませる。〈交流活動〉の成果が生かされ、伝えたいことをよりの確に伝えられたと実感できれば、次に別の書く活動に取り組む際に、素材や発想、構成、表現等について吟味し工夫しながら書こうとするようになる。言い換えれば、目的や意図に応じて、「何を、どのように書けばよいか」、「構成や表現は最適か」と自問し吟味しながら書くようになると共に、学んだ知識や技能を生かそうとする姿勢や、新たな知識・技能の習得への意欲の向上も図れると考えられる。

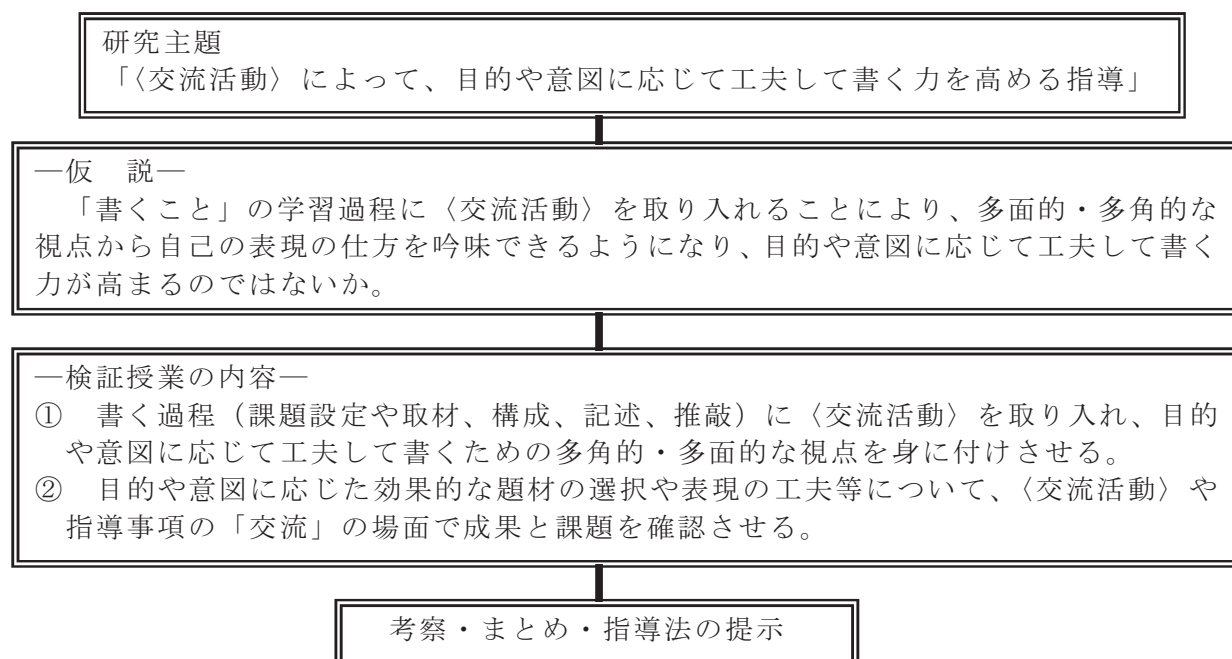
以上のことから、本研究の仮説を次のように設定した。

—仮説—

「書くこと」の学習過程において〈交流活動〉に取り組むことにより、多面的・多角的な視点から自己の表現の仕方を吟味できるようになり、目的や意図に応じて工夫して書く力が高まるのではないかと考えられる。

IV 研究の方法

1 研究構想図



2 仮説の検証

本研究では、「書くこと」の指導の過程に〈交流活動〉を取り入れ、書く目的や意図に応じた表現方法の工夫等について生徒が相互に学び合う機会を設け、多角的・多面的な視点をもって自分の表現の仕方を吟味できるようにすることで、一人一人の表現力の向上を図る。

そのための効果的な〈交流活動〉の設定の仕方を検討し、3学年それぞれについて単元を設定し、授業を行った後、成果と課題を分析・考察することによって、仮説を検証する。

● 検証の方法

第1学年

- 1 学校紹介パンフレットに掲載する原稿に書く内容を決める。
- 2 効果的な文章の「構成」について〈交流活動〉で検討する。
- 3 〈交流活動〉を踏まえ、個人で原稿を完成させ、「交流」で工夫について相互評価する。

第2学年

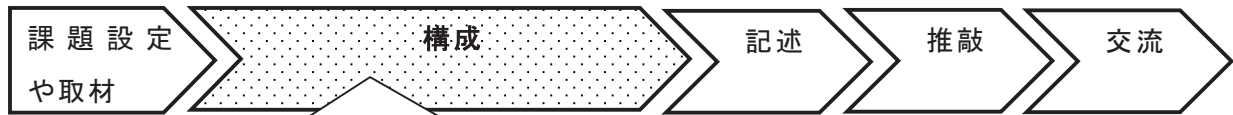
- 1 食品ロスについての資料を読み、自分の考えをもつ。
- 2 異なる意見をもつ相手に対する意見文の「記述」の工夫について〈交流活動〉を行う。
- 3 〈交流活動〉を踏まえ、個人で原稿を完成させ、「交流」で工夫について相互評価する。

第3学年

- 1 「課題設定や取材」の方法について〈交流活動〉を行い、「中学生へのおすすめ」を紹介する文章を書くための材料を集める。
- 2 構成や引用に工夫して原稿を書き、「交流」で材料の選び方や使い方を相互評価する。

〈交流活動〉を取り入れた「書くこと」の指導

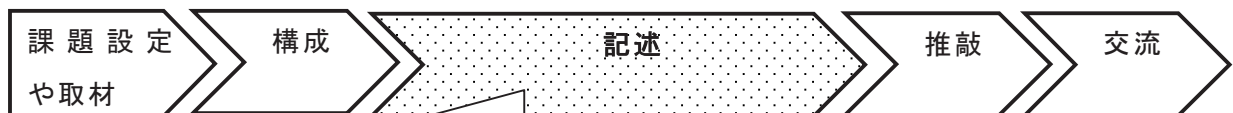
● 第1学年 「学校紹介パンフレットをつくろう」



交流活動

- 文章の構成を考える段階で〈交流活動〉に取り組む。
- 〈交流活動〉で読み手を引き付ける効果的な構成の工夫を学ぶ。
- 小学生に向けたパンフレットの原稿を、構成を工夫して分かりやすく書く。

● 第2学年 「食品ロスについて意見文を書こう」



交流活動

- 文章を記述する段階で〈交流活動〉に取り組む。
- 〈交流活動〉で意見を効果的に伝える表現の工夫や根拠の示し方を学ぶ。
- 自分の立場を決め意見を的確に伝える記述を工夫して意見文を書く。

● 第3学年 「中学生へのおすすめを紹介しよう」



交流活動

- 取り上げる題材を決めたり必要な材料を集めたりする段階で〈交流活動〉に取り組む。
- 〈交流活動〉で課題に適した題材や必要な材料、引用や編集の仕方の工夫について学ぶ。
- 必要な材料を集め工夫して編集しながら課題に応じた文章を書く。

V 研究の内容

指導の実際

<指導例 1 : 第 1 学年> 行事等の案内や報告する文章を書くことの指導例

1 単元名

学校紹介パンフレットをつくろう ～効果的な構成を工夫して分かりやすく書く～

2 単元の目標

小学生に向けての中学校での生活や行事等を紹介するパンフレットを、読み手を引き付ける文章の構成を工夫しながら分かりやすく書くことができる。

3 評価規準

【国語への関心・意欲・態度】

- 小学生に向けての学校紹介パンフレットを、読み手を引き付ける文章の構成を工夫して分かりやすく書こうとしている。

【書く能力】

- 集めた材料を目的に応じて整理し、効果的な構成の工夫を考えながら分かりやすく文章を書いている。((1)イ)
- 書いた文章を互いに読み合い、構成の工夫について意見を述べたり自分の表現の参考にしたりしている。((1)オ)

【言語についての知識・理解・技能】

- 多様な語句について理解を深めながら、目的に応じて適切な語句を選択している。

4 教材

- 中学校や高等学校の学校案内パンフレットやホームページに掲載している記事を印刷した資料
- ワークシート、交流シート、自己評価カード

5 主な学習活動

(1)単元の展開(全4時間)

	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点
第1時	○ 小学校6年生に向けた学校紹介パンフレットに掲載する原稿を書くための材料を集める。	○ 来年中学校に入学する小学校6年生に向けて、中学校への入学が楽しみになるような学校紹介パンフレットを作成することを説明する。
第2時	○ 〈交流活動〉で小学校6年生に対して効果的な構成の工夫について意見や助言を出し合い、それを基に分かりやすさを意識して原稿を書く。	○ 分かりやすさと伝えたい内容を効果的に伝えることをねらいとした構成の工夫にはどのようなものがあるかを〈交流活動〉で考えさせる。
第3時	○ 書いた原稿を互いに読み合い、構成	○ 構成の工夫を観点として相互評価を

	の工夫について相互評価をする。	させる。改善が必要な点には具体的な助言を記させる。
第4時	○ 相互評価の内容を参考にしながら、学校紹介パンフレットを作成するとともに、単元の学習のまとめを行う。	○ 完成したパンフレットは冊子にして実際に小学校に配布することを確認し、相手意識を明確にもたせる。

(2) 指導の展開例

第1時

①本時の目標

小学校6年生に向けた学校紹介パンフレットにはどのような情報を載せればよいかを考え、掲載する原稿を書くために必要な材料を集めながら自分の考えをまとめる。

②本時の学習

学習活動	指導上の留意点	○評価規準・〔評価方法〕
<p>○ 小学校6年生に向けて、学校紹介パンフレットを作ることを知り、どのようなパンフレットを作るかのイメージをもつ。</p> <p>○ パンフレットをつくる目的が「中学校への入学を楽しみにさせるため」であることを知り、テーマを設定する。</p> <p>○ 「学習・学校行事・校外行事・部活動・委員会活動・その他」の中から自分が書く原稿のテーマを決め、そのテーマについて原稿を書くための材料をワークシートに書き出す。</p> <p>○ 伝えたいことに沿って原稿を書くために、集めた材料をグループ化したり取捨選択したりして、ワークシートに整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ パンフレットの完成イメージがもてるように、中学校や高等学校の学校紹介パンフレット等を示す。 ・ 原稿を書く目的を明確にできるように、パンフレットが「中学校への入学を楽しみにさせるため」のものであることを伝える。 ・ テーマは、「学習・学校行事・校外行事・部活動・委員会活動・その他」から設定するよう指示する。 ・ 設定したテーマについて、原稿を書くための材料をマッピングで出させる。 ・ パンフレットを目的に沿ったものできるように、相手を意識してテーマの決定や材料の整理を行わせる。 	<p>○ 目的に応じて、様々な手段で、書くための材料を集めている。</p> <p style="text-align: right;">〔観察〕 〔ワークシート〕</p> <p>○ 相手や目的を踏まえてテーマを決め、書くための材料を整理している。</p> <p style="text-align: right;">〔ワークシート〕</p>

○ パンフレットをつくることを想定して、伝えたいことをどのように原稿にするか構想を考え、ワークシートに記入する。	・ 次時に構成について〈交流活動〉を行うことをあらかじめ伝え、分かりやすさや効果を意識しながら構成を考えさせる。	○ 相手や目的を踏まえて様々に構成に工夫をしようとしている。 〔観察〕 〔ワークシート〕
----------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------	----------------------------------------------------

第2時

①本時の目標

小学校6年生に向けた学校紹介パンフレットの原稿について、構成にどのような工夫をすればよいかを〈交流活動〉を通して学び合い、様々な意見を参考にして構成を工夫しながら分かりやすく原稿を書く。

②本時の学習

学習活動	指導上の留意点	○評価規準・〔評価方法〕
<p>○ 本時のねらいを確認する。</p> <p>〔交流活動〕</p> <p>○ 前時にワークシートに記入した材料を、項目ごとにカードに記入する。</p> <p>○ 4人一組の班になり、それぞれのカードを持ち寄って、「テーマ」「伝えたいこと」を理解した上で、効果的で分かりやすく書くためには、どのように構成を工夫すればよいか、意見を出し合う。</p> <p>○ カードを様々に並べ替える中で、不足している情報や余分な情報を指摘する。</p> <p>○ 〈交流活動〉で出された意見や助言を基に、設定したテーマについて、構成を再考しながら</p>	<p>・ 前時の活動を基に、効果的な構成を工夫して分かりやすく原稿を書けるように、〈交流活動〉に取り組むことを伝える。</p> <p>・ 構成について、「多面的・多角的な視点」をもてるように、「何を」「どの順序で」「どのように」書けばよいかについて、目的を意識させながら〈交流活動〉に取り組ませる。</p> <p>・ 〈交流活動〉が活発に進行するように、必要に応じて、個別に班への助言をする。</p> <p>・ 構成に工夫して原稿を書けるように、〈交流活動〉で出された意見や助言を生かして書</p>	<p>○ 目的や意図に応じた構成の工夫について、互いに意見を述べたり助言をしたりしながら、考えを広げようとしている。 〔観察〕</p> <p>○ 〈交流活動〉での意見や助言を生かし、分かりやすさや効果を意識し</p>

<p>ら原稿を書く。</p> <p>○ 書いた原稿の構成について、どのような工夫をしたのかをワークシートに記入する。</p>	<p>くよう指示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工夫が意図や目的に応じたものとなっているかを見直させるために、工夫した点をワークシートに記入させる。 	<p>て構成に工夫しながら原稿を書いている。</p> <p style="text-align: right;">〔観察〕</p> <p style="text-align: right;">〔ワークシート〕</p>
----------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第3時

①本時の目標

小学校6年生に向けた学校紹介パンフレットの原稿を互いに読み合い、構成の工夫について、意見を述べたり助言をしたりしながら成果と課題を確かめる。

②本時の学習

学習活動	指導上の留意点	○評価規準・〔評価方法〕
<p>○ 本時のねらいを確認する。</p> <p>○ 四人一組で、前時に書いた原稿について、どのような工夫をしたのかを説明して、読み合い、分かりやすく効果的な工夫となっているかという観点から、相互評価を行う。</p> <p>○ 原稿と相互評価の内容を基に、学校紹介パンフレットを作成する。①</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前時の活動を基に、構成の工夫についての成果と課題を把握した上で、学校紹介パンフレットを作成することを伝える。 原稿についての成果と課題をそれぞれが把握できるように、「どのような工夫をしようとしているのか」「その工夫が原稿に反映されているか」「その工夫が目的や意図に応じたものとなっているか」を観点として、相互評価を行うように指示する。 交流が活発に進行するように、必要に応じて、個別に班への助言をする。 相互評価の内容を生かしながら、レイアウト等にも工夫してパンフレットをつくるよう指示する。 	<p>○ 書かれた文章について構成の工夫に関する観点から読み、評価している。</p> <p style="text-align: right;">〔観察〕</p> <p style="text-align: right;">〔ワークシート〕</p> <p>○ 書いた文章についての意見や助言を基に、文章をよりよいものにしようとしている。</p> <p style="text-align: right;">〔観察〕</p>

第4時

①本時の目標

小学校6年生に向けた学校紹介パンフレットを完成させ、互いに読み合い、意見や感想を述べ合いながら、構成の工夫についての見方や考え方を深める。

②本時の学習

学習活動	指導上の留意点	○評価規準・〔評価方法〕
<p>○ 本時のねらいを確認する。</p> <p>○ 原稿と相互評価の内容を基に、学校紹介パンフレットを作成する。②</p> <p>○ 〈交流活動〉の時とは別の六人一組で、完成した学校紹介パンフレットを互いに読み合い、意見や感想を交流シートに記入する。また、参考になったパンフレットについて、工夫されていたところや感想をワークシートに記入する。</p> <p>○ 単元の学習内容を振り返り、自己評価カードに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単元のまとめの時間として、パンフレットを完成させて互いに読み合い、学習の成果を確かめ合うことを伝える。 ・ 前時の相互評価の内容を生かしながら、レイアウト等にも工夫してパンフレットをつくるよう再指示する。 ・ 「構成の工夫」「その他」の観点から互いのパンフレットを読み合い、意見や感想を交流シートに記入して渡すように指示する。 ・ 自分の表現に役立てたり視点を広げたりするために、参考になったパンフレットの工夫点や感想をワークシートに記入するよう指示する。 ・ 単元を通して身に付いた力や今後の課題を整理するために、これまでの学習を振り返り自己評価カードに記入するよう指示する。 	<p>○ 学んだことを生かし、目的や意図に応じて工夫してパンフレットを書いている。</p> <p style="text-align: center;">〔パンフレット〕</p> <p>○ パンフレットを互いに読み合い、材料の集め方や構成の工夫、表現の仕方等について、学習したことを基に評価している。</p> <p style="text-align: center;">〔交流シート〕</p> <p>○ パンフレットを互いに読み合い、自分の表現に役立てたり考えを深めたりしようとしている。</p> <p style="text-align: center;">〔ワークシート〕</p> <p>○ 身に付けた力や課題を把握し、今後の学習活動や実生活に生かそうとしている。</p> <p style="text-align: center;">〔自己評価カード〕</p>
<p>単元の学習終了後、学校紹介パンフレットを冊子にして近隣小学校に配布する。</p>		

【生徒による活動の例】

<第1時のワークシートから> 設定したテーマと構成の案

- テーマ 「FW（フィールドワーク）について」
- 伝えたいこと 「自分たちで計画を立てることの楽しさ」
- マッピング
FW → 遠足との違い → 事前学習 → 歴史・由来
→ 行動計画 → 自分たちで考える → 責任
→ - - - - -
- 構成メモ FW → 遠足との違い → 歴史 → 行動計画……

<第2時のワークシートから> 〈交流活動〉での構成の工夫に関する意見・助言

- 交流活動のメモ
 - ・ はじめに、「FW」がどういうものか分かるように、詳しい説明を入れることが必要。
→ 「遠足との違い」も考えて
 - ・ 事前学習の詳しい内容については、最後に付け加える形がよいのではないか。
→ 学習の場 より充実したFWにするため
 - ・ 内容ごとにまとめて、見出しなどを付けてもよいか。
 - ・ はじめに、読み手を引き付ける内容を書いた方がよいのではないか。
 - ・ 伝えたいことを強調する工夫が必要。
→ 最初に伝えるか 最後に伝えるか くり返し伝えるか
 - ・ - - - - -

<第2時～第3時のワークシートから> 〈交流活動〉を基に書いた原稿

〇〇中学校には、FWという行事があります。FWとは、フィールドワークの略です。フィールドワークと聞いて、みなさんはどんな行事を思い浮かべるでしょうか。小学校の遠足に似たとても楽しい行事ですが、遠足とは違う点もいくつかあります。これからその内容を紹介したいと思います。

FWとは、班で計画を立て班で行動する、つまり、自分たちで考え実行するととても楽しい行事です。しかしそれは、誰か一人でも計画とずれたり失敗してしまったりしたら、班員全員に迷惑をかけることになるということでもあります。また、FWは授業の一部なので、ただどこかに出かけるだけではなく、事前学習やまとめ学習で出かける場所の歴史や……

<第2時～第3時のワークシートから> 構成の工夫点

生徒Aのワークシートから

- 読んだ人を引き付けられるように、書き出しの部分を、FWについて興味をもってもらえるように書いて、あとから詳しい説明をするようにした。
- 書き出しの次の段落では、小学校の遠足との違いを説明して、「やはり中学校は小学校とはひと味違う」という感じを伝えるようにした。

生徒Bのワークシートから

- 最後に実際にFWを経験した中学生の「声」をいくつかのせて、FWの楽しさやFWからどんなことを学べるかが伝わるようにした。

<学校紹介パンフレットから> 第3時の相互評価を踏まえて

FWとは？

みなさんは、遠足の前日に眠れなくなってしまったことはありますか？ ●●中学校に入学したら、FWという行事があります。小学校の遠足に似ていますが、少し違う行事です。FWのことを知ったら、前日どころではなく、今から楽しみで眠れなくなってしまうかもしれません。ここでは、そんな楽しいFWについて、紹介したいと思います。

「FW」というのは、「フィールドワーク」の頭文字をとったものです。班で計画を立て班で行動する、自分たちで進めていくとても楽しい行事です。「楽しい」といっても、FWは授業の一部なので、事前学習やまとめ学習など、…

先輩たちの声

学校では経験できないことが、たくさんありました。道が分からなくなったり、時間に遅れそうになったりしましたが、自分たちで考えながら行動することができて、とても充実した1日でした。

浅草でのFWで、班員全員が協力することの大切さを学ぶことができました。また、実際にその場所に行ってみて、事前学習が大事だということも分かりました。

**<指導例 2 : 第 2 学年> 多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章
を書くことの指導例**

1 単元名

食品ロスについて意見文を書こう ～立場や根拠を明確にする記述を工夫して書く～

2 単元の目標

食品ロスに関する記事を読んで自分の考えをまとめ、事実や事柄、自分の意見が相手に効果的に伝わるように記述を工夫しながら書くことができる。

3 評価規準

【国語への関心・意欲・態度】

- ・ 食品ロスについての自分の意見を述べる文章を、事実や事柄、自分の意見や考えが効果的に伝わるように記述に工夫して書こうとしている。

【書く能力】

- ・ 自分の立場や伝えたい事柄を明確にし、意見が効果的に相手に伝わるように具体例などを加えて文章を書いている。((1)ウ)
- ・ 書いた文章を互いに読み合い、記述の工夫について意見を述べたり自分の表現の参考にしたりしている。((1)オ)

【言語についての知識・理解・技能】

- ・ 抽象的な概念を表す語句などについて理解し、目的に応じて適切に用いている。

4 教材

- ・ 食品ロスについて書かれた資料（新聞記事、雑誌記事、インターネット記事）
- ・ ワークシート、交流シート、自己評価カード

5 主な学習活動

(1)単元の展開(全4時間)

	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点
第1時	○ 食品ロスに関する資料を読んで自分の考えをまとめ、〈交流活動〉①を通して意見を効果的に伝えるための記述の工夫について、意見や助言を出し合う。	○ 食品ロスという社会生活上の問題について、複数の材料から自分の考えをまとめ、意見を効果的に伝える文章を書くことを説明する。
第2時	○ 〈交流活動〉①で学び合ったことを生かしながら、自分の意見が相手に効果的に伝わるよう記述を工夫して意見文を下書きする。	○ 自分の意見を効果的に伝えるという観点から、〈交流活動〉を通して記述の工夫について考えさせる。
第3時	○ 〈交流活動〉②で互いに下書きを読み合い、記述の工夫や効果について意見や助言を出し合った後、それらを生かして意見文を清書する。	○ 記述の工夫を観点として相互評価をさせる。改善が必要な点には具体的な助言を記させる。

第4時	○ 記述にどのような工夫をしたのかを明らかにしながら意見文を完成させるとともに、単元の学習のまとめを行う。	○ どのような効果を意図してどのように工夫をしたのかを明確にさせ、ねらいをもって書かせる。
-----	-------------------------------------------------------	-----------------------------------------------

(2) 指導の展開例

第1時

① 本時の目標

食品ロスに関する複数の資料を読んで自分の考えをまとめ、〈交流活動〉を通して、事実や事柄、意見が効果的に読み手に伝わる記述の工夫についての見方や考え方を深める。

② 本時の学習

学習活動	指導上の留意点	○ 評価規準・〔評価方法〕
<p>○ 食品ロスについての意見文を書くことを知り、複数の資料を読んで、食品ロスについての自分の考えをまとめる。</p> <p>○ 意見文で伝えたいことを明確にし、文章全体の構成のイメージをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 意見文を書くために自分の立場や意見をまとめられるように、食品ロスが自らも関わる社会生活上の問題であることを説明する。 完成した意見文のイメージをもたせるために、自分の立場や意見を明確に分かりやすく伝えるための文章構成を、ワークシートにまとめさせる。 	<p>○ 資料を読み、自分の立場や意見を明確にまとめている。</p> <p>〔観察〕 〔ワークシート〕</p>
<p>〈交流活動〉①</p>		
<p>○ 4人一組で、互いに書こうとしている内容や構成を伝え合い、伝えたい事柄や意見を効果的に相手に伝えるための記述の工夫について意見を述べたり、助言をしたりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 異なる立場や意見をもつ相手に対して、効果的に自分の意見や考えを伝えるための記述の工夫にはどのようなものがあるかを、〈交流活動〉によって考えさせる。 〈交流活動〉が活発に進行するように、必要に応じて、個別に班への助言をする。 	<p>○ 目的や意図に応じた記述の工夫について、互いに意見を述べたり助言をしたりしながら、考えを広げようとしている。</p> <p>〔観察〕</p>
<p>○ 〈交流活動〉で得られた意見や助言を基に、効果的な記述の工夫を考えながら、意見文の下書きを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 記述を工夫しながら下書きを書けるように、〈交流活動〉で出された意見や助言を生かして書くよう指示する。 	<p>○ 相手や目的を踏まえて様々に記述を工夫しながら下書きを書いている。</p> <p>〔観察〕〔ワークシート〕</p>

第2時

①本時の目標

〈交流活動〉で学び合ったことを生かしながら、自分の意見・考えが相手に効果的に伝わるよう記述を工夫して意見文の下書きを書く。

②本時の学習

学習活動	指導上の留意点	○評価規準・〔評価方法〕
○ 本時のねらいを知る。	・ 前時の活動を基に、自分の意見や考えを効果的に伝えるための記述を工夫して下書きを書けるように、〈交流活動〉での意見や助言を生かすよう伝える。	
○ 〈交流活動〉で学び合ったことを生かしながら、自分の意見が相手に効果的に伝わるよう記述を工夫して意見文の下書きを書く。	・ 意見を伝える相手を決め、その相手に効果的に伝えるための記述の工夫を考えながら下書きを書くように指示する。 (例)「同級生」「地域の方」「小学生」「他国の方」など。	○ 〈交流活動〉での意見や助言を生かすとともに、「相手」に応じて効果的に自分の意見を伝えられるよう記述を工夫して下書きを書いている。 〔下書きの原稿〕
○ 下書きを書く際に、どのような意図でどのような記述の工夫をしたのかをワークシートに記入する。	・ 明確な意図をもって記述の工夫をさせるために、相手や目的に応じてどのように工夫したのかを明らかにさせる。	○ 目的や意図に応じてどのように記述を工夫をすればよいかを意識して文章を書いている。 〔ワークシート〕

第3時

①本時の目標

下書きを互いに読み合い、相手や意図に応じた記述の工夫について、意見を述べたり助言をしたりし、出された意見や助言を生かしながら意見文を清書する。

②本時の学習

学習活動	指導上の留意点	○評価規準・〔評価方法〕
○ 本時のねらいを知る。	・ 前時の活動を基に、下書きの記述の工夫について意見を述べたり助言をしたりし、出	

<p>〈交流活動〉②</p> <p>○ 四人一組で意見文の下書きとワークシートを互いに読み合い、相手や意図に応じた記述の工夫について、意見を述べたり助言をしたりする。</p> <p>○ 〈交流活動〉で出された助言を基に、設定したテーマについて、相手を踏まえて、記述の工夫を再考しながら下書きを清書する。</p> <p>○ 書いた原稿の記述について、どのような工夫をしたのかをワークシートに記入する。</p>	<p>された意見や助言を生かしながら清書することを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 記述について、「多面的・多角的な視点」をもてるように、「どのような内容を」「どのように」書けばよいかについて、相手や目的を意識させながら〈交流活動〉に取り組みさせる。 〈交流活動〉が活発に進行するように、必要に応じて、個別に班への助言をする。 記述を工夫して原稿を書けるように、〈交流活動〉で出された助言を生かして書くよう指示する。 工夫が意図や目的に応じたものとなっているかを見直させるために、工夫した点をワークシートに記入させる。 	<p>○ 目的や意図に応じた記述の工夫について、互いに意見を述べたり助言をしたりしながら、考えを広げようとしている。</p> <p style="text-align: right;">〔観察〕</p> <p>○ 〈交流活動〉での意見や助言を生かし、自分の意見を相手に効果的に伝えるために記述を工夫しながら下書きを清書している。</p> <p style="text-align: right;">〔観察〕 〔ワークシート〕</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第4時

①本時の目標

記述をどのように工夫したのかを明らかにしながら意見文を完成させるとともに、単元の学習を振り返り、身に付けた力を確かめる。

②本時の学習

学習活動	指導上の留意点	○評価規準・〔評価方法〕
<p>○ 本時のねらいを確認する。</p> <p>○ 〈交流活動〉で出された助言を基に、設定したテーマについて、相手を踏まえて、清書を</p>	<ul style="list-style-type: none"> 単元のまとめの時間として、意見文を完成させて互いに読み合い、学習の成果を確かめ合うことを伝える。 〈交流活動〉の成果を生かしながら、意図や目的に応じた工夫を明確にして書くよう 	<p>○ 学んだことを生かし、目的や意図に応じて記述を工夫しながら意見</p>

<p>完成させる。</p> <p>○ 書いた原稿の記述について、どのような工夫をしたのかをワークシートに記入する。</p> <p>○ 〈交流活動〉の時とは別の六人一組で、完成した意見文を互いに読み合い、意見や感想を交流シートに記入する。また、参考になった意見文について、工夫点や感想をワークシートに記入する。</p> <p>○ 単元の学習内容を振り返り、自己評価カードに記入する。</p>	<p>再指示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「記述の工夫」「その他」の観点から互いの意見文を読み合い、意見や感想を交流シートに記入して渡すように指示する。 ・ 自分の表現に役立てたり視点を広げたりするために、参考になった意見文の工夫点や感想をワークシートに記入するよう指示する。 ・ 単元を通して身に付いた力や今後の課題を整理するために、これまでの学習を振り返り自己評価カードに記入するよう指示する。 	<p>文を書いている。</p> <p>〔意見文の原稿〕</p> <p>○ 意見文を互いに読み合い、記述の工夫等について、学習したことを基に評価している。</p> <p>〔交流シート〕</p> <p>○ 意見文を互いに読み合い、自分の表現に役立てたり考えを深めたりしようとしている。</p> <p>〔ワークシート〕</p> <p>○ 身に付けた力や課題を把握し、今後の学習活動や実生活に生かそうとしている。</p> <p>〔自己評価カード〕</p>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【生徒による活動の例】

＜第3時のワークシートから＞ 〈交流活動〉での記述の工夫に関する意見・助言

- 小学生に対して、給食など身近な例をあげながらどのように取り組めばよいか説明されていて、分かりやすいと思った。
- 地域の方にどのような取組をしてほしいのか整理して書かれている。取組を広げるためにはどうするかが、もう少し書かれているとよいと思った。
- 前もって違う意見の人のことを考えて書いているので、とても説得力があると感じた。話しかけるような書き方もよいと思った。

＜第4時のワークシートから＞ 〈交流活動〉を通してどのように書くことができたか

- 自分の主観だけで書いてしまっていたが、「地域の方に納得してもらえよう理由付けをしっかりとの方がいい」という助言があったので、理由と取組を整理して、説得力が出るように書くことができた。

<提出された意見文から>

「食品ロスを減らすために」 —地域の皆さんへ—

皆さんは、「食品ロス」という言葉をご存知ですか。

日本では、一年間に500万トンから800万トンもの「まだ食べられる食品」が廃棄されていて、これを「食品ロス」と呼ぶそうです。私は今回の学習でこの言葉や現状をはじめて知りました。そして、自分にできることは何か、地域の皆さんに呼びかけられることは何かを考えました。

調べてみると、スーパーやレストランなどでは、食品ロスを減らすための取組が増えてきていることが分かりました。例えば、スーパーでは賞味期限が近づいてきた商品を値引きして買いやすくしたり、生鮮食品などは惣菜の材料にしたりしています。レストランでも、料理の量を調節してくれたり、いつまでに食べるなどの注意点を伝えた上で食べ切れなかった分の持ち帰りを勧めてくれたりするところが増えてきているそうです。

スーパーで値引きされている商品などを、私も見たことがあります。今までは利益を上げるためだと思っていて、食品ロス＝「無駄」を減らそうという意識があったなどということはありませんでした。同時に、値引きされている商品を見た時に、「賞味期限が切れそうな商品より、新しい商品の方がいい」と考えてしまっていたことを思い出しました。レストランなどで食べ切れなかった時にも、持って帰るなどという発想がまったくありませんでした。そして、私自身が、年間500万トンから800万トンという食品ロスの一部を生み出していたのだということを実感しました。

私はこれから、食品ロスを減らすための取組に積極的に協力していこうと思います。もちろん、自分自身も無駄を出さないように買う量を考えたり食べ切れなかったものを保存したりすることを心掛けます。皆さんにも、自分にできることを考え、実行していただけたらと思います。一人にできることは小さいけれど、その小さなことを集めていけば、何百万トンもの無駄をゼロに近づけていけるはず。「脱・食品ロスの町づくり」を目指して、捨てない、残さない、買い過ぎない生活を、今日からスタートさせましょう。

＜指導例 3 :: 第 3 学年＞ 目的に応じて様々な文章などを集め、工夫して編集することの指導例

1 単元名

中学生へのおすすめを紹介しよう ～取材や編集を工夫して書く～

2 単元の目標

複数の材料について内容や特徴を比較したり吟味したりしながら、「中学生におすすめ」の 1 本を紹介する文章を編集などに工夫しながら書くことができる。

3 評価規準

【国語への関心・意欲・態度】

- ・ 「中学生へのおすすめ」を紹介する文章を、複数の材料について内容や特徴を比較したり吟味したりして、編集などに工夫しながら書こうとしている。

【書く能力】

- ・ 課題に即して題材を決め、書くための材料を様々な方法で集めて比較したり吟味したりして自分の考えを深めながら、文章を書いている。((1)ア)
- ・ 書いた文章を互いに読み合い、材料の集め方や吟味の仕方の工夫について意見を述べたり、ものの見方や考え方を深めたりしている。((1)エ)

【言語についての知識・理解・技能】

- ・ 和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、目的に応じて語句を適切に用いている。

4 教材

- ・ ワークシート、交流シート、自己評価カード

5 主な学習活動

(1)単元の展開(全 3 時間)

	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点
第 1 時	○ 複数の材料から中学生へのおすすめを紹介するという課題について、様々な方法で材料を集め、〈交流活動〉を通して比較する観点や吟味の仕方などについて意見や助言を出し合い、考えを深める。	○ 事前に課題について説明し、材料を集めておくよう指示しておく。 ○ どのように材料を比較したり吟味したりすればよいのかを〈交流活動〉を通して具体的に考えさせる。
第 2 時	○ 〈交流活動〉で学び合ったことを生かして材料を比較・吟味しながら、自分の意見が相手に効果的に伝わるよう構成や記述を工夫して文章を書く。	○ 材料を効果的に用いて、構成や記述にも工夫をしながら文章を書くように指示する。また、著作権の問題にふれながら引用のルールを指導する。
第 3 時	○ 書いた文章を互いに読み合い相互評価するとともに、単元の学習のまとめを行う。	○ 観点を明確にして評価させる。また、書くことについての自己の成果と課題を具体的に把握させる。

(2) 指導の展開例

第 1 時

①本時の目標

複数の材料から中学生におすすめの 1 本を紹介するという課題について、様々な方法で材料を集め、〈交流活動〉を通して比較する観点や吟味の仕方などについて意見や助言を出し合い、考えを深める。

②本時の学習

学習活動	指導上の留意点	○評価規準・〔評価方法〕
○ 「中学生におすすめの 1 本」を紹介する文章を書くことを知り、自分で決めたテーマについて様々な方法で材料を集める。	・ 複数の材料を比較したり吟味したりしながら効果的に用いて、説得力のある文章を書くことを説明する。	
〈交流活動〉		
○ 四人一組で、集めた材料の比較の観点や吟味の方法について意見を出し合うとともに、効果的な示し方について考える。	・ 集めた材料を効果的に用いて説得力のある文章を書かせるために、そのための準備や工夫について〈交流活動〉を通して考えさせる。 ・ 〈交流活動〉が活発に進行するように、必要に応じて、個別に班への助言をする。	○ 目的や意図に応じた材料の比較の観点や吟味の方法について、互いに意見を述べたり助言をしたりしながら、考えを広げようとしている。 〔観察〕
○ 〈交流活動〉で得られた意見や助言を基に、集めた材料を比較したり吟味したりし、気付いたことや考えたことをワークシートに記入する。	・ 材料について、「多角的・多面的な視点」から捉えられるように、〈交流活動〉での意見や助言を生かすよう指示する。	○ 集めた材料を比較・吟味しながら、自分の考えを深めている。 〔観察〕〔ワークシート〕

第 2 時

①本時の目標

〈交流活動〉で学び合ったことを生かして材料を比較・吟味しながら、自分の意見が相手に効果的に伝わるよう構成や記述を工夫して文章を書く。

②本時の学習

学習活動	指導上の留意点	○評価規準・〔評価方法〕
○ 本時のねらいを知る。	・ 前時の活動を基に、自分の意見や考えを効果的に伝える	

<p>○ 〈交流活動〉で得られた意見や助言を基に、集めた材料を比較したり吟味したりしながら、自分の考えをまとめ、構成や記述に工夫しながら文章を書く。</p> <p>○ 文章を書く際にどのような点に工夫をしたのかを、ワークシートに記入する。</p>	<p>ために材料を比較・吟味しながら工夫して文章を書けるように、〈交流活動〉での意見や助言を生かすよう伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 材料を効果的に用いて説得力のある文章を書けるように、「多面的・多角的な視点」から材料や表現の仕方を吟味するよう指示する。 • ねらいを明確にして表現の仕方に工夫をさせるために、どのような目的や意図をもってどのように工夫したのかを明らかにさせる。 	<p>○ 〈交流活動〉での意見や助言を生かしながら、効果的に自分の意見を伝えられるよう表現の仕方に工夫して文章を書いている。</p> <p style="text-align: right;">〔原稿〕</p> <p>○ 目的や意図に応じてどのように表現の仕方に工夫をすればよいかを意識して文章を書いている。</p> <p style="text-align: right;">〔ワークシート〕</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第3時

①本時の目標

書いた文章を互いに読み合い相互評価するとともに、単元の学習を振り返り、身に付けた力を確かめる。

②本時の学習

学習活動	指導上の留意点	○評価規準・〔評価方法〕
<p>○ 本時のねらいを確認する。</p> <p>○ 〈交流活動〉の時とは別の六人一組で、完成した文章を互いに読み合い、意見や感想を交流シートに記入する。また、参考になった文章について、工夫点や感想をワークシートに記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 単元のまとめの時間として、完成した文章を互いに読み合い、学習の成果を確かめ合うことを伝える。 • 「材料の使い方」「その他」の観点から互いの文章を読み合い、意見や感想を交流シートに記入して渡すように指示する。 • 自分の表現に役立てたり視点を広げたりするために、参 	<p>○ 文章を互いに読み合い、表現の仕方の工夫等について、学習したことを基に評価している。</p> <p style="text-align: right;">〔交流シート〕</p> <p>○ 文章を互いに読み合い、自分の表現に役立て</p>

<p>○ 単元の学習内容を振り返り、自己評価カードに記入する。</p>	<p>考になった文章の工夫点や感想をワークシートに記入するよう指示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元を通して身に付いた力や今後の課題を整理するために、これまでの学習を振り返り自己評価カードに記入するよう指示する。 	<p>たり考えを深めたりしようとしている。</p> <p>[ワークシート]</p> <p>○ 身に付けた力や課題を把握し、今後の学習活動や実生活に生かそうとしている。</p> <p>[自己評価カード]</p>
-------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

【生徒による活動の例】

＜第1時の活動から＞ 「中学生におすすめ」のテーマの例

- 中学生よ、京都に行く前に、この雑誌で学べ。
- この一冊で、数学がわかる。
- 新聞の人物コラム、中学生へのおすすめはコレだ。

＜第2時のワークシートから＞ 材料の比較・吟味①

資料	資料の特徴	気が付いたこと・考えたこと
A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図や写真が多い。地図も詳しい。 ・ 舞妓さんのキャラクターが案内する形式になっている。 ・ 飲食店の場所やメニューの紹介が多くて詳しい。 ・ 史跡なども紹介しているが、解説があまり詳しくない。 ・ - - - - - 	<ul style="list-style-type: none"> ● 見やすさ・読みやすさ 大きな写真やカラフルな図が多いので、一番見やすいのはA。舞妓さんのキャラクターが案内してくれる設定も読みやすい。
B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通機関についての情報が分かりやすい。(路線・所要時間など) ・ モデルコースがたくさん出ていて見所の解説も詳しい。 ・ 年中行事の紹介や解説が詳しく書かれている。 ・ 飲食店やみやげ物店についての情報はやや少なめ。 ・ - - - - - 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学びやすさ 寺社や仏像などについての解説が一番詳しいのはC。しかし、内容が少し難しい。Bは分かりやすく、取り上げている場所なども多い。
C	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図や写真少なめ。 ・ 寺社や仏像などについて詳しく解説している。やや難しい。 ・ 飲食店などについての情報は少ない。伝統品の紹介はある。 ・ 細かく詳しい地図が載っている。 ・ - - - - - 	<ul style="list-style-type: none"> ● 移動のしやすさ AかB。初めて行く中学生にはバスの路線図やモデルコースの所要時間が詳しく書かれているBの方がよい。コース作りにも役に立ちそう。

<提出された文章から>

新聞の人物コラム、中学生へのおすすめはコレだ。

12月10日、ノーベル賞の受賞式が行われました。皆さんもニュースなどで知っていると思いますが、山中伸弥さんが医学・生理学賞を受賞し、日本人として19人目のノーベル賞受賞者となりました。

翌日の新聞には、授賞式の様子などが大きく取り上げられていました。その中から僕は、山中さんの人物像などについて記している記事に注目し、中学生におすすめの文章を選んで紹介しようと思います。

僕は、A紙、B紙、C紙の3つの新聞について、山中さんの人物像を記しているコラムを比較しました。どのコラムも、iPS細胞とその開発者という同じテーマで書かれていますが、書き方が3つそれぞれ個性的でした。A紙は、「失恋」という意外な話題から書き始めているので、ぐっと記事に引き込まれました。しかし、iPS細胞の開発などについてはほとんどふれられていないため、山中さんがノーベル賞を受賞することになるまでの苦労などは、このコラムからは読み取ることができません。B紙は、iPS細胞がどういうもので、その開発までに山中さんがどのような研究を積み重ねてきたのかが、中学生である僕にも分かりやすく書かれていましたが、山中さんがどんな人物なのかについてはあまり記されていませんでした。また、「不可逆のプロセス」や「再帰のループ」など、ところどころに意味を理解できない表現などもありました。

僕が皆さんにおすすめするのはC紙です。C紙にも少し難しい表現は出てきますが、山中さんの生い立ちからこれまでの人生やiPS細胞との「闘い」について書かれていて、知りたい情報がバランスよくまとめられています。しかし、僕がこのコラムをおすすめする理由は読みやすさや情報量だけではありません。山中さんが一冊の本との出会いで医学の道に進もうと思ったことや、研修医の頃「じゃまなか」とどなられることもあったことなど、僕たちが自分の進路について考える上で参考になる内容が、C紙のコラムには書かれているのです。

ノーベル賞を受賞した、自分とは違う世界の人の記事としてではなく、一人の「人生の先輩」の生き方から学ぶつもりで、C紙のコラムをぜひ読んでみてください。

VI 研究のまとめ

本研究では、『書くこと』の学習過程に〈交流活動〉を取り入れることにより、多面的・多角的な視点から自己の表現の仕方を吟味できるようになり、目的や意図に応じて工夫して書く力が高まるのではないかと、という仮説に基づき、効果的な〈交流活動〉の設定の仕方を検討し、3学年それぞれについて単元を設定・実施した。以下、研究のまとめとして、成果と課題を示す。

●第1学年

第1学年では、「構成」について〈交流活動〉を取り入れた。文章の組立てを明確に意識できるように「パンフレット」という形式を用い、また、相手に分かりやすい文章を書くことを工夫させるために相手を小学6年生とした。

構成を考える段階で〈交流活動〉に取り組ませることにより、相手や目的に応じた文章の構成について、様々な視点から考えさせることができた。書くことが苦手な生徒も積極的に書こうとし、書くことが得意な生徒にはより効果的な構成を考えさせることができた。パンフレットから一般的な文章の構成へとつなげさせていく指導が、今後必要である。

●第2学年

第2学年では、「記述」について〈交流活動〉を取り入れた。相手を想定させ、的確で説得力のある記述を工夫させながら自分の意見を書かせた。

記述について〈交流活動〉に取り組ませることで、効果的な表現や意図通りに伝えるための工夫などを学ばせることができた。また、〈交流活動〉を踏まえて下書きを互いに読み合わせることで、明確な視点をもって推敲させたり清書に取り組ませたりすることができた。事実と意見との書き分け方や、資料の効果的な引用の仕方について、更に指導していくことが必要である。

●第3学年

第3学年では、「課題設定や取材」について〈交流活動〉を取り入れた。材料を多面的・多角的な視点から捉えさせながら自分の考えをまとめ、文章を書かせた。

「課題設定や取材」について〈交流活動〉に取り組ませることにより、集めた材料の別の面に気付かせたり、効果的に文章を書くための材料の吟味の仕方について学ばせたりすることができた。また、既習事項を生かすことを意識させ、「構成」や「記述」にも目的や意図に応じて工夫させるようにした。第3学年では、発達段階に応じて、具体的な事物だけでなく抽象的な対象についても多面的・多角的に捉えさせ書かせる指導が必要である。

「書くこと」の学習過程に〈交流活動〉を取り入れることで、自分では気付かなかった表現の仕方の工夫をしながら「書く」活動に取り組ませることができた。他者の視点を借りずに自分の表現の仕方について吟味し、目的や意図に応じて工夫して書くことができるようにさせるため、教材の開発や単元の配置などについて更に検討していくことが課題である。

平成24年度 教育研究員名簿

中 学 校 ・ 国 語

地区	学 校 名	職名	氏名
稲城市	稲城市立稲城第四中学校	教 諭	◎岩田 美紀
豊島区	豊島区立千登世橋中学校	教 諭	○加藤 則之
文京区	文京区立第三中学校	主任教諭	平林 美代子
練馬区	練馬区立光が丘第三中学校	教 諭	橋本 めぐみ
葛飾区	葛飾区立常盤中学校	教 諭	栃木 昌晃
府中市	府中市立府中第三中学校	教 諭	飯田 雄一
昭島市	昭島市立清泉中学校	教 諭	櫻井 威明
羽村市	羽村市立羽村第三中学校	主任教諭	関根 和子

◎ 世話人 ○ 副世話人

〔担当〕 東京都教育庁指導部義務教育特別支援教育指導課
指導主事 吉川 泰弘
東京都教職員研修センター研修部専門教育向上課
指導主事 戸田 恵介

平成24年度
教育研究員研究報告書

中学校・国語

東京都教育委員会印刷物登録

（平成24年度第243号）
平成25年 3月

編集・発行 東京都教育庁指導部指導企画課
所在地 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話番号 (03) 5320-6882
印刷会社 株式会社 イマイシ